

今日の主な活動：神楽岡公園へ



今週の火曜日に、神楽岡公園できれいな栗を見つけ、みんなで大喜びで拾いました。

帰りの道中も栗の話で盛り上がり、ご飯を食べながら『栗会議』をすることに。

「みんなで食べたい」という意見が多い中、一人、「家に持って帰りたい」と伝える子がいました。

「じゃあ、一個だけ持って帰って、他のはみんなの分にしたら？」「今日とってきたものはみんなで食べて、また神楽岡に採りに行くのはどう？」など、その子に声をかけますが、首を縦に振りません。

大人も「お母さんに栗の茹で方を聞いて、お母さんの思いも詰まった栗にするのはどう？」とひと案を出し、みんなの思いも一つになり、栗を茹でてみよう！ということになりました。

恵子さんに、その思いを伝えると・・・その案は、ストップ！

神楽岡公園にある自然物は、自然を保護するために、持ち出してはならないのです。

その後、子どもたちとも、話をしました。

神楽岡公園にある木の実は誰が食べると思う？→（子どもたち）りすや鳥

私も、神楽岡公園の物は持ってきてはいけないと知っていたけれども、下に落ちているものはいいかなと思い、持ってきてしまったんだ。大人も間違ったり失敗したりしてしまうことがあるんだ。ごめんね。

すると、子どもたちは、「拾ってきた木の実は神楽岡公園に返しに行こう」と言うのです。

栗会議で、あんなに言葉を交わし話し合いをし、楽しみにしていたはずなのに、こうして大人の話を受け止め、共に考えてくれる子どもたちに、胸が熱くなりました。

強く優しい人に育っていることを感じ、これからも何か起きた時、大人の正直な思いも伝え、どうしていくのか？子どもたちと一緒に考えていきたいと、改めて感じさせてもらいました。

そして今日、お昼寝の時間に、神楽岡公園に行き、木の実を返してきました。

「りすさーん！木の実を持っていっちゃってごめんねー！！」

